

令和5年度 重点目標

部署：教務部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>学力アップを図るために授業の質を向上させる</p>	<p>PDCAに基づく授業改善を行う (PLAN) 指導目標の設定 年間指導計画の作成 生徒の実態把握 (DO) 「考えさせる」学習過程の工夫 体験的な学習や問題解決的な学習の工夫 情報機器の効率使用 個に応じた指導の充実 (CHECK) 学習評価の工夫改善 授業評価の実施 授業公開の実施 (ACTION) 成果や課題の分析 指導改善計画の作成</p>	<p>学習評価を指導改善につながるものにする 授業評価による振り返りをする 教科内での交流、学校全体での交流の場を持つ など、知識や経験、課題意識などを共有する機会を増やす 情報機器の活用状況</p>	<p>授業評価による振り返り、観点別学習状況の評価方法、公開授業の実施により、各教科、各教員で改善・工夫をするように検討を重ねた1年であった。 公開授業では、iPadを利用して生徒に考えさせたり、発表させたりと観点別評価につながる授業展開が行われ、日頃の授業でもiPad活用の授業が定着してきている。</p>
<p>観点別学習評価方法を定着させる</p>	<p>単元ごとや授業ごとの評価方法を研究し、考查問題に反映させる ルーブリックを作成し、共通理解の上で正しく評価できるようにする</p>	<p>観点別評価方法の定着状況</p>	<p>授業展開や考查問題の工夫により、観点別評価方法も定着しつつあるが、さらに研究を重ねる。</p>
<p>校務支援システムの導入により効率化を図る</p>	<p>円滑な運用ができるよう対応する</p>	<p>きめ細かい指導を実現する</p>	<p>BLENDの導入により、出欠状況や成績、帳票などを効率よく確認することができるようになった。</p>
<p>キャリア教育を推進し、自らの将来について主体的に考える力を養う</p>	<p>日々の授業やHR活動、部活動や学校行事、またキャリアパスポートを通して次の能力を育む ○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力 ○課題対応能力 ○キャリアプランニング能力</p>	<p>キャリアパスポートの活用状況 課外活動などの参加状況</p>	<p>キャリアパスポートの取り組みは、自己理解を深め、自分の将来の目標やイメージをもつことがしやすくなり、生徒たちが主体的に考える力を身につけるための機会になっている。</p>

令和5年度 重点目標

部署：入試広報部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 入学者数の目標達成</p> <p>目標を達成するために以下に示す各項目での目標達成を目指す</p>	<p>受験者および入学者の確保については、入試広報部だけでなく、学園全体での取り組みが不可欠である</p> <p>(a) 教育内容 ・生徒の満足度や活動実績、進路、評判等による本校への評価</p> <p>(b) 宣伝広告 ・HPやSNS等のデジタル媒体および紙媒体による本校教育内容の発信およびブランディング</p> <p>(c) 訪問活動 ・中学校や塾への情報提供および信頼関係の構築</p> <p>(d) オープンスクール ・中学生、保護者両方が満足する内容の提供</p> <p>(e) 保護者対応 ・保護者の不安を取り除き、本校への興味、関心を高める</p> <p>(f) 入試条件 ・可否の目安や奨励金制度等</p> <p>上記項目の中で、入試広報部が深くかかわる(c)訪問活動および(e)保護者対応に注力する。また、企画広報が主体となる(b)宣伝広告および(d)オープンスクールについては連携を図り、質の向上を目指す</p>	<p>入学者数 300名 (今年度199名)</p> <p>専願者数 280名 (今年度193名)</p> <p>受験者数 550名 (今年度457名)</p>	<p>専願者は193名で、対目標△87名。受験者数は457名で、対目標△93名名という結果となった。</p> <p>専願者数は想定以上に悪い結果となっており、抜本的な広報が必要である。特に、「取組計画・内容」の項目、(b)宣伝広告では、立ち遅れているインターネットでの生徒募集活動を予算を組んで始めるべきであるとする。(f)入試条件では、過去と他校のデータを参考に、奨励金制度の見直しを図る必要がある。</p>
<p>(1-1) 本校へのアクセス増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ ・資料請求 ・オープンスクール (OS) ・外部説明会 	<p>本校へのアクセス(問い合わせ、訪問)を増加させるための活動を行う</p> <p>(a) 訪問活動の強化 ・本校の認知のみならず、中学生に勧めたくなるような情報発信を行う。また、本校在校生や卒業生に関する報告や成功した生徒の具体エピソードを伝えることを心がける</p> <p>(b) HPの有効活用 ・単なる情報発信に終わらない、ブランディングを強く意識したHPの改変を行う</p>	<p>問合せ者数 2,000名 (今年度1,956名)</p> <p>OS参加者数 1,600名 (今年度1,390名)</p>	<p>問合せ者数は1,956件で、対目標△44名となった。OS参加者数は1,390名で、対目標△210名、対昨年+54名となった。</p> <p>問合せ者数もOS参加者数も対昨年では増加に転じたが、対目標にはとどかなかつた。OSではリピート率が昨年度36.8%に対して、今年度は27.0%と△9.8%と落ち込んだ。OSの参加が1回のみの中学生の専願率は8%弱であることから、リピート率の向上も課題である。</p>
<p>(1-2) 専願率(受験率)向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専願者数÷問い合わせ総数 ・専願者数÷OS参加者数 ・専願者数÷外部説明会参加者数 ・専願者数÷個別相談参加者数 	<p>各数値に関して現状を分析するとともに対策を行う</p> <p>途中経過として、OSでのアンケートをもとに、専願者および受験者の見込み数を把握していく</p>	<p>専願受験率 20.0% (今年度15.1%)</p> <p>※入試広報部各自目標に対する専願率の平均</p>	<p>専願受験率は15.1%で、対目標△4.9%となった。この専願率の低さが専願者数減少の主要因となる。兵庫県における逆風や大阪市・大阪府の終盤での伸び悩みなど課題は山積である。原因を分析し、新たな施策を打たなければならない。</p>
<p>(2) 部内システムの構築</p>	<p>継続的に望ましい結果を得るために、個人の力量に頼るだけでなく、入試広報部としてのシステムを構築する</p> <p>(a) 訪問データの作成および分析</p> <p>(b) 中学生情報の収集および活用</p> <p>(c) 成功事例の共有化</p>	<p>左記項目が実施できたかどうかの確認</p>	<p>概ね実施できた。</p>

令和 5 年度 重点目標

部署：進路指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
1, 基礎学力の向上と定着	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部・各教科と連携して、ベネッセ教材での成績向上を図る。 ・終礼トレーニングを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサポート、進路マップでの成績結果 	<p>【学力テスト結果】</p> <p>スタディサポート(第1回)3教科[R3→R4→R5] 3年生…成績上位中堅層増加傾向 スタディサポート(第2回)3教科[R3→R4→R5] 2年生…前年度2年生を維持 進路マップ実力(1月)3教科[R3→R4→R5] 1年生…成績上位中堅層減少傾向</p>
2, 進路決定に向けたサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特別進学コースでの組織的指導を継続する。 ・推薦型選抜や総合型選抜での面接対策を行う。 ・チュートリアル制度の運用と活用により幅広い進路実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学と難関私立大学（一般選抜）の合格数 ・推薦型選抜と総合型選抜の合格数 	<p>【一般選抜 合格数】《大》合計83 神戸(国立)1、大阪教育(国立)1、同志社 4、関西 3、近畿 2、龍谷 10、甲南 3、京都産業 9、同志社女子 3 他 【総合・推薦他】《大・短》合計155 合格数 総合型61 指定校推薦型45 その他推薦等49 香川(国立)1、立命館 1、関西学院 1、近畿 3、京都女子 3、京都産業 3、武庫川女子 7、桃山学院 2、追手門学院4、関西外国語 2、他 《専門学校合格数》A O69 推薦他14 【チュートリアル生：進学先】 武庫川女子・大阪経済・甲南女子(看護)・森ノ宮医療(検査)・関西福祉(看護)・関西労災病院看護専門学校、他</p>
3, キャリアサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進学先(大学・短期大学・専門学校・企業・業界等)の研究機会を通して、ミスマッチのない進路選択を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定校等を活用した連携授業や体験会などの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による進路ガイダンス実施(自己理解、志望理由・自己PR、学問・社会理解等：各コースでの連携授業等を実施) ・模擬面接、進学・就職ガイダンス実施
4, 社会理解の深化と進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を促す機会を設けて、ライフプランニングに繋げることを図る。 ・進路ガイダンスなどを企画して、学問や職業紹介媒体を通して社会への理解を幅広くして、進路希望と決定に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査の回答状況 ・進路決定率 	<p>【進路希望調査状況】 [大短・専・就・未定他 合計(人)] 1年12月 [145/65/32/28 270] 2年12月 [149/68/33/19 266] 3年7月 [157/75/22/16 270] 【進路決定状況】 決定者数[率] 247人/265人[93.2%] (進学229人 就職18人)</p>

令和5年度 重点目標

部署：生徒指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>自立した社会に貢献できる女性を育てる</p> <p>1.基礎学力の向上 2.女性としての教養とマナー</p>	<p>教員の率先垂範</p> <p>集会や日常の学校生活を通じて、生徒に目標を理解させ、行動させる。</p> <p>「挨拶」「礼儀」を身にさせる 「社会人としてのマナー」を身につけさせる 「態度」「身嗜み」に対する意識を高める 「時間」「約束」を厳守させる 「整理・整頓・清潔・清掃」を身につけさせる 「授業への集中」を推進し、基礎学力を高める</p>	<p>生徒用振り返りシートを作成し、1年間の学校生活をチェックする。</p> <p>《振り返りの項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・礼儀を意識している(状況を確認) ・態度・身嗜みを意識している(状況を確認) ・時間・約束を意識している(状況を確認) ・整理整頓清潔清掃を意識している(状況を確認) ・授業に積極的参加した(状況を確認) 	<p>学校長より「自由闊達にして愉快なる理想の学園建設」というテーマをいただき、LHRでのディスカッション、新時代フォーラムと称する意見交換の場を設けた。フォーラムの焦点は諸規定が中心となり、生徒自ら考えた諸規定に対する意見を述べた。</p> <p>これを契機に曖昧になっていた諸規定の再確認ができ、生徒もわかりやすく、教員は声をかけやすく転換できた。最も、諸規定がなくても常識を物差しにTPOに合った節度ある行動がとれる状態が理想ではあるが、まだ不十分である。</p> <p>《振り返り結果》 回答数…1年255・2年256</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・礼儀 …1年(95.3%)・2年(93.8%) ・態度・身嗜み …1年(91.0%)・2年(90.6%) ・時間・約束 …1年(86.3%)・2年(91.4%) ・4S …1年(89.4%)・2年(90.2%) ・授業・成績 …1年(91.0%)・2年(90.2%)
<p>個別の事情を抱え、登校できない生徒への対応</p>	<p>担任・学年からの報告を受けてケース会議を開き、方針を決定する。場合によっては教務部と連携し、サポート制度の検討も行う。</p>	<p>登校できずに進級の条件を満たさない状況に陥る生徒を救済する。</p>	<p>《学校が楽しいと感じている生徒 R5.9実施》 1年…87.3% 2年…79.0% 3年…82.9%</p> <p>《ケース会議(個別事情を抱える生徒の会議)》 23回実施(20名)→3年2名 2年4名 1年0名に異動。本年度はサポート制度から2名、卒業予定。</p>
<p>いじめに対する対応</p>	<p>早期に発見し、いじめ対応に関する学校の体制に基づいて対応して、解決をはかる。 いじめに関するアンケートを6月と9月の2回実施する。</p>	<p>いじめの事案が発生した場合、いじめ問題対応マニュアルに基づき、双方納得ゆく解決を迅速に行う。</p>	<p>2回のいじめに関するアンケートでは、数名の生徒から「いじめ」と「体罰」に関する回答があり、学年・担任の先生を中心に聴き取りを行ったが、「いじめ」「体罰」に至る報告はなかった。学年・担任の聴き取りは迅速に行われた。</p>
<p>SNSなどによるトラブルの防止(前年度4件発生)</p>	<p>学年集会や各HR活動で、具体的事例をあげて生徒に考えさせて指導する。</p>	<p>SNSTラブル発生防止の取り組みを進めるが、発生した場合は迅速に解決する。</p>	<p>SNSTラブル5件発生(特別指導12件中)</p> <p>SNSTラブルについては、「これくらいなら、いいだろう」という意識の低さと節度に欠けることがトラブルの原因になっている。毎年、全学年でSNSTラブルについて集会を行っているが、iPadの活用も含めて、SNSTラブルの学習会を継続する。</p>
<p>感染症対策</p>	<p>朝礼時に担任が生徒一人ひとりの健康観察を実施し健康観察表へ記録する。また感染予防として校内の衛星環境を整える。</p>	<p>朝礼時、担任が生徒一人ひとりの健康チェックを行い保健室と体調不良生徒の情報共有をする。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症 66名 インフルエンザ感染 65名(2月現在累計) ハンカチ所持率 69.6%(6月)→76.5%(1月) 保健委員会のもと手洗い、換気の励行とポスター作成・掲示を全クラスで実施 学級閉鎖がなく、感染症拡大防止の成果が見られた。</p>

令和 5 年度 重点目標

部署：生徒会指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>明華祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. より完成度の高い作品、公演の制作、発表を通して、充実感、達成感を感じさせる 2. 本校のアイデンティティとなる行事にする</p>	<p>1. 制作、練習が計画通り進んでいるか、進捗状況を度々確認をする 1. クラス、部活動との打合せ等を密にして、1日目の公演の更なる充実を図る 2. 密な打合せ等を通して「全ての参加クラス、部活動が自分の作品の発表だけにとどまらず、2日間の‘明華祭’を制作する」という意識向上を図る</p>	<p>2, 3. 来場者、生徒アンケート結果</p>	<p>昨年度に比べて少しレベルアップしたように感じるが、来年度は更に完成度の高い内容になるようにサポートしていきたい。 アルカイクホールの来場者アンケートでは100%の好評を得た。</p>
<p>体育祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. 1日楽しくスポーツに親しむことで友人との親睦を図り、連帯感を感じさせる 2. パフォーマンスの発表ではなく、積極的に参加させることに重点を置く</p>	<p>1. クラス対抗、学年対抗の団体競技を通じて団結力を強め、帰属意識、連帯感を感じさせる 2. 運動が苦手な生徒でも楽しく参加できる種目を実施する</p>	<p>1. 生徒アンケート結果 2. 出欠調査</p>	<p>生徒アンケートで好評が96%であった。</p>
<p>行事を増やし学校生活の充実を図る 委員会の招集を増やし、生徒が主体的に考える機会を増やす</p>	<p>希望者対象の行事を含めて新しい行事を増やし、好評であれば来年度も継続する Koubun Voice等を通じて、日々の清掃の必要性、古紙回収をはじめとする本校のエコ活動の意義、芝のメンテナンス等の緑化活動の意味などを委員会活動を通して生徒、教員に対する啓蒙活動の実施</p>	<p>1. 参加人数、感想等 2. Koubun Voiceの発行数 2. 委員会の開催数</p>	<p>「ドッジボール大会」や「チョコレートクッキー制作体験」などの行事を生徒会の生徒が企画、実施し、好評を得た。 季節に応じた内容を記載し、教室に掲示してもらった。発行部数10部</p>
<p>部活動のあり方について検討する</p>	<p>部活動の地域活動への移行など、これからの部活動のあり方について検討する</p>		<p>コロナ前の状態に戻った</p>

令和6年度 好文学園女子高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

教育方針

- ◇ 自立した社会に貢献できる女性の育成
- ◇ 基礎学力の向上と女性としてのマナーと教養の習得
- ◇ 「個性創造」(基礎基本を身に着けたうえで花開く独創性)
- ◇ 「やればできるは魔法の言葉 自分サイズの未来を拓く
チャンスメーカー好文学園」

目指す学校像

生徒自ら学園生活をクリエイトできる在校生にとって楽しく、
卒業生にとって心のふるさととなる学園

2. 中期的目標

- ① 生徒会(諸規定の見直しやイベント企画など)自治の拡充
- ② 「観点別学習状況の評価」に沿った授業展開ならびに定期試験の実施
- ③ 授業や部活動、学校行事を通して「自ら考える」チャンスの積極的提供
- ④ 情報機器の効率使用によるレベルに応じた学力アップの達成
- ⑤ 総合選抜型入試対策として小論文指導の整備拡充
- ⑥ 特進コースの再整備 S-KB80 システムによる徹底した学習管理で国公立大学をめざせる実力をつける
- ⑦ 進学アドバンスコースにおける英検2級取得プロセスの確立
- ⑧ ホームページ、インスタグラムなど SNS を通じた学校情報発信の拡充
- ⑨ 出欠、成績、帳票一元管理システムの導入による業務効率化

以上

令和 6 年度 重点目標

部署：教務部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>学力アップを図るために授業の質を向上させる</p>	<p>PDCAに基づく授業改善を行う (PLAN) 指導目標の設定 年間指導計画の作成 生徒の実態把握 (DO) 「考えさせる」学習過程の工夫 体験的な学習や問題解決的な学習の工夫 情報機器の効率使用 個に応じた指導の充実 (CHECK) 学習評価の工夫改善 授業評価の実施 授業公開の実施 (ACTION) 成果や課題の分析 指導改善計画の作成</p>	<p>学習評価を指導改善につながるものにする 授業評価による振り返りをする 公開授業、教科内での交流、学校全体での交流の場を持つなど、知識や経験、課題意識などを共有する機会を増やす 情報機器の活用状況</p>	
<p>観点別学習評価方法を定着させる</p>	<p>単元ごとや授業ごとの評価方法を研究し、考査問題に反映させる ルーブリックを作成し、共通理解の上で正しく評価できるようにする 3学年の学年末考査を実施せず、3学期は各教科で工夫した授業展開をする</p>	<p>観点別評価方法の定着状況 生徒が積極的に授業に取り組む姿勢を持たせるための授業を実施</p>	
<p>校務支援システム(BLEND)の導入により効率化を図る</p>	<p>円滑な運用ができるよう対応する</p>	<p>BLENDの活用を強化 きめ細かい指導を実現する</p>	
<p>キャリア教育を推進し、自らの将来について主体的に考える力を養う</p>	<p>日々の授業やHR活動、部活動や学校行事、またキャリアパスポートを通して次の能力を育む ○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力 ○課題対応能力 ○キャリアプランニング能力</p>	<p>キャリアパスポートの活用状況 課外活動などの参加状況</p>	

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>(1) 入学者数の目標達成</p> <p>目標を達成するために以下に示す各項目での目標達成を目指す</p>	<p>受験者および入学者の確保については、入試広報部だけでなく、学園全体での取り組みが不可欠である</p> <p>(a) 教育内容 ・生徒の満足度や活動実績、進路、評判等による本校への評価</p> <p>(b) 宣伝広告 ・HPやSNS等のデジタル媒体および紙媒体による本校教育内容の発信およびブランディング</p> <p>(c) 訪問活動 ・中学校や塾への情報提供および信頼関係の構築</p> <p>(d) オープンスクール ・中学生、保護者両方が満足する内容の提供</p> <p>(e) 保護者対応 ・保護者の不安を取り除き、本校への興味、関心を高める</p> <p>(f) 入試条件 ・可否の目安や奨励金制度等</p> <p>上記項目の中で、入試広報部が深くかかわる(c)訪問活動および(e)保護者対応に注力する。また、企画広報が主体となる(b)宣伝広告および(d)オープンスクールについては連携を図り、質の向上を目指す</p>	<p>入学者数 300名 (前年度199名)</p> <p>専願者数 270名 (前年度193名)</p> <p>受験者数 550名 (前年度457名)</p> <p>※前年度・R6.3.4時点 中国12名除</p> <p><</p>	
<p>(1-1) 本校へのアクセス増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ ・資料請求 ・オープンスクール (OS) ・外部説明会 ・Web広告 	<p>本校へのアクセスを増加させるための活動を行う</p> <p>(a) 訪問活動の強化 ・本校の認知のみならず、中学生に勧めたくなるような情報発信を行う。また、本校在校生や卒業生に関する報告や成功した生徒の具体エピソードを伝えることを心がける</p> <p>(b) HPの有効活用 ・単なる情報発信に終わらない、ブランディングを強く意識したHPの改変を行う</p> <p>(c) Web広告の導入で認知度を高める</p>	<p>OS参加者数 1,600名 (今年度1,346名)</p>	
<p>(1-2) 専願生の増加</p>	<p>常に現状を分析するとともに併願から専願への対策を行う途中経過として、OSでのアンケートをもとに、専願者および受験者の見込み数を把握していく</p>	<p>専願者数 270名 (今年度193名)</p>	
<p>(2) 部内システムの構築</p>	<p>継続的に望ましい結果を得るために、個人の力量に頼るだけでなく、入試広報部として情報共有してシステムを構築する訪問情報、中学生情報、成功事例、課題等の検討および共有化</p>	<p>左記項目が実施できたかどうかの確認</p>	

令和 6 年度 重点目標

部署：進路指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
1, 基礎学力の向上と定着	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部、各教科と連携して、ベネッセ教材での成績向上を目指す。 ・終礼トレーニングを継続し、総合型及び学校推薦型選抜につながる取り組みとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサポート、進路マップでの成績結果 ・終礼トレーニングでの実施内容 	
2, 進路決定に向けたサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特別進学コースでS-KB80を中心とした組織的指導の確立を目指す。 ・総合型選抜及び推薦型選抜での合格を目指した指導を行う。 ・チュートリアル制度の運用と活用により幅広い進路実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試に対する合格数 「一般選抜」での国公立大学と難関私立大学の合格数と「総合型選抜」及び「推薦型選抜」の合格数 ・S-KB80のシステム化と活用 ・総合型選抜及び推薦型選抜に向けた取り組み 	
3, 自己理解・社会理解を通して、進路意識の高揚と希望進路の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解への取り組みを通して、ライフプランニングに繋げることを図る。 ・学問や職業紹介媒体を通して社会への理解を広げて、進路希望に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解、社会理解に繋げる講演会やガイダンスの実施 ・進路希望調査の回答状況 	
4, キャリアサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先研究の機会を通して、ミスマッチのない進路選択と決定を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定に向けた授業やガイダンスの実施 ・協定校等を活用した連携授業や体験会などの実施 ・進路決定状況 	

令和6年度 重点目標

部署：生徒指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>自立した社会に貢献できる女性を育てる</p> <p>1.基礎学力の向上 2.女性としての教養とマナー</p>	<p>ビジョン「自由闊達にして愉快なる理想の学園」のもと、教員が行動基準「それは生徒のためになるのか」を指導の原則として生徒指導を行う。</p> <p>《生徒指導の柱 四原則》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良識と常識を持って、指導する ・尊厳(人権意識)を大切にする。 ・社会性と道徳をもって、判断する。 ・自立と主体性を育む。 	<p>生徒が自主的に「時(社会的状況)、場所(地域情報)、場合(生活様式)」を意識した行動ができるようになること。そして、全教員が主体的に「ふさわしい声掛け」ができるような学園になること。</p> <p>生徒用振り返りシートを作成し、1年間の学校生活をチェックする。</p> <p>《振り返りの項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・礼儀を意識している(90%) ・態度・身嗜を意識している(90%) ・時間・約束厳守を意識している(90%) ・整理整頓清潔清掃を意識している(90%) ・授業に積極的参加した(90%) 	
<p>意欲的な行動</p> <p>個別の事情を抱え、登校できない生徒への対応</p>	<p>担任・学年からの報告を受けてケース会議を開き、方針を決定する。場合によっては教務部と連携し、サポート制度の検討も行う。</p>	<p>登校できずに進級の条件を満たさない状況に陥る生徒を救済する。</p> <p>学校が楽しいと感じている生徒 80%</p>	
<p>いじめに対する対応</p>	<p>早期に発見し、いじめ対応に関する学校の体制に基づいて対応して、解決をはかる。</p> <p>いじめに関するアンケートを6月と9月の2回実施する。</p>	<p>いじめの事案が発生した場合、いじめ問題対応マニュアルに基づき、双方納得ゆく解決を迅速に行う。</p>	
<p>SNSなどによるトラブルの防止 (前年度5件発生)</p>	<p>学年集会(4月)や各HR活動で、具体的事例をあげて生徒に考えさせて指導する。</p>	<p>SNSトラブル発生防止の取り組みを進めるが、発生した場合は迅速に解決する。</p>	
<p>感染症対策</p>	<p>朝礼時に担任が生徒一人ひとりの健康観察を実施し健康観察表へ記録する。</p> <p>感染予防として校内の衛星環境を整える。</p> <p>保健委員を通じて、健康に関する情報を伝達する。</p> <p>BLEND 保健室管理の活用にて情報の確認。</p>	<p>朝礼時、担任が生徒一人ひとりの健康チェックを行い保健室と体調不良生徒の情報共有をする。</p>	

令和 6 年度 重点目標

部署：生徒会指導部

好文学園女子高等学校

重点目標	取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>明華祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. 生徒の主体性を活かしながら、より完成度の高い作品、公演の制作、発表を通して、充実感、達成感を感じさせる 2. 本校のアイデンティティとなる行事にする</p>	<p>1. 制作、練習が計画通り進んでいるか、進捗状況を度々確認をする 1. クラス、部活動との打合せ等を密にして、1日目の公演の更なる充実を図る 2. 密な打合せ等を通して「全ての参加クラス、部活動が自分の作品の発表だけにとどまらず、2日間の‘明華祭’を制作する」という意識向上を図る</p>	<p>2, 3. 来場者、生徒アンケート結果</p>	
<p>体育祭の活性化 「楽しい、待ち遠しい、誇れるイベントに」 1. 1日楽しくスポーツに親しむことで友人との親睦を図り、連帯感を感じさせる 2. パフォーマンスの発表ではなく、積極的に参加させることに重点を置く</p>	<p>1. クラス対抗、学年対抗の団体競技を通じて団結力を強め、帰属意識、連帯感を感じさせる 2. 運動が苦手な生徒でも楽しく参加できる種目を実施する</p>	<p>1. 生徒アンケート結果 2. 出欠調査</p>	
<p>生徒主体の行事を増やし学校生活の充実を図る 委員会の招集を増やし、生徒が主体的に考える機会を増やす</p>	<p>希望者対象の行事を含めて新しい行事を増やし、好評であれば来年度も継続する Koubun Voice等を通じて、日々の清掃の必要性、古紙回収をはじめとする本校のエコ活動の意義、芝のメンテナンス等の緑化活動の意味などを委員会活動を通して生徒、教員に対する啓蒙活動の実施</p>	<p>1. 参加人数、感想等 2. Koubun Voiceの発行数 2. 委員会の開催数</p>	
<p>部活動のあり方について検討する</p>	<p>部活動の地域活動への移行など、これからの部活動のあり方について検討する</p>		